

04年度アメリカ白内障・屈折手術眼科学会に参加して



今年のゴールデンウィークは米国の西海岸のメキシコ国境の町サ ンディエゴで開催されたアメリカ白内障・屈折手術眼科学会に何人 かの親しい仲間とともに参加する機会を得た。風光明媚な港に位置 する巨大な学会場は、会場が30以上もあるような状況で、機械展示 会場の中にも教育プログラムがあって、気軽に参加できる雰囲気の ものである。ウェルカムパーティーが港に係留中の現役の航空母艦 で開かれたのは、いかにもアメリカ的ではあるが、眼科手術および

眼科学会に対する評価が米軍の中でも高いことを反映しているものと思われた。

白内障手術に関していえば単に視力を回復するという段階から、例えば各人の生活スタイルに合わ せた眼内レンズを左右眼に移植するような、つまりは白内障手術ではなく、レンズ交換術と称し調節 可能あるいは遠近ともある程度見えるような人工レンズの挿入方法についての発表が多くみられた。

これは格段に安全性と精度を増した白内障手術がもたらした結 果として、ある種の屈折矯正手術といえるが、現在の角膜を削る 方法ばかりでなく、有水晶体眼に極めて小さな切開創から特殊な 眼内レンズを挿入するような新しい方法に対する治験の評価がな され、安全性についての吟味も更にされて実用化が近いという印 象をうけた。今後は日本でも屈折矯正に各種の方法が各個人に安 全で一番良い方法で行われる可能性があるといえる。



院長 谷藤

泰寬



眼底における最新装置『OCT』の導入

私も谷藤眼科に就任してから、早くも二度目の夏を迎えました。毎日暑い日々ではありますが、た くさんの患者様に支えられ、充実した日々を過ごしております。

最近では、糖尿病や高血圧などの全身疾患で眼科に紹介される患者様が増加しています。それだけ に、私も患者様一人一人が合併症に対する認識が高くなってきていることを痛感させられています。 特に眼底疾患においては、自覚症状がある方はなおさら、自覚症状がない方でも進行が認められるこ ともあり、早期発見、早期治療が求められると私は考えています。

コンピューターの発達に伴い、外来におきましてもその場で撮った眼底写真等のデータをディスプ レイ上で患者様に見ていただくことや、より詳しい状況の説明もできるようになりました。しかし、 どんなに私たちが検眼鏡や細隙灯顕微鏡で患者様の眼底を検査し、診断しても、その病態はどの部分 (組織) でどの程度生じているのか、現在はどんな状態(活動性)なのかといったことまでは、はっ きりと判断がつかない場合があります。その手助けとなるのが、最近当院に導入された光干渉断層計 (optical coherence tomography: OCT)という装置なのです。

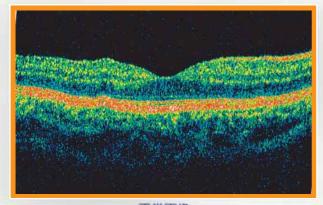
OCTは、眼底の断層像を非侵襲的に得る画期的な装置です。 光の反射波の強弱によって擬似的にカラー表示されるため、眼底 写真では得られなかった組織レベルでの撮影が可能となりまし た。したがって、著明な視力低下の原因となる糖尿病網膜症や網 膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、黄斑円孔、加齢性黄斑変性などの 疾患に対する病態、さらには治療方針の決定や治療効果の判定が 把握しやすくなり、患者様はもちろん、私たち眼科医にとっても 大いに役立つ装置と考えています。



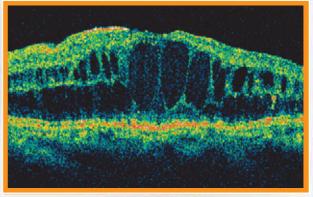
姜

副院長

和哲



正常画像



囊状黄班浮腫画像

「夏バテ」には気をつけましょう 受付事務 花田 由佳子

梅雨が明ければいよいよ夏がやってきます。昨年は稀にみる冷夏で寒い思いをしましたが、今年の 夏は平年並みの暑い夏になりそうです。

そこで気をつけたいのが「夏バテ」です。暑さによる食欲不振、身体もだるくなり、やる気が出ず ダラダラしてしまったり・・・。冷房の効きすぎた所にいて「夏風邪」をひいてしまうとか。そうな らない為には「よく食べて、よく寝る」のが一番良いそうで、基本的な事ですが、大切な事だと思い ます。良く晴れた日に、体調不良で部屋で寝込むなんて・・・勿体無い。

短い夏を元気に過ごしたいですね。

私を支えてくれた言葉

私は患者様や多くの方々との出会いによって、色々な事を教えていただき、またたくさんの言葉に 励まし支えられて、今の自分が存在していられるのだとつくづく感じています。

以前、茨城カウンセリングセンターの理事長をされている大須賀発 蔵先生のお話を伺う機会がありました。その中で、仏説阿弥陀経の「極 楽の池」という一説に、私は救われ今でも大変心の支えになっています。

大如車輪
黄色黄光黄陰
白色白光白陰
微妙香潔



これは、極楽の池の情景を述べたものだそうです。池の中には青や黄の大輪の蓮華が、それぞれの 色の輝きと陰を持ち咲いていて、その中には雑色(まだら色)の華も雑色の輝きと陰を持ち、他の青や 黄と変わらない尊い命としてお互いに尊重し合い肩を並べて咲き、あたりは清らかな香りに包まれて いるというもので、カウンセリングの心にも通じるというお話でした。

この言葉を聞き肩の力がスーッと抜け楽になりました。それまでは自分を否定し責める気持ちが強 く、こんな欠点だらけの雑色の私でも、他の人達と肩を並べて存在してもいいのだと思う事が出来、 以来私の大切な言葉となっています。とは言え、現実には自分の未熟さや愚かさに落ち込み、悩み、 葛藤する毎日です。でもそんな時にはこの言葉を思い浮かべ、その未熟さ愚かさに目を背けずきちん と向き合って受け入れ、私なりに成長出来るよう努力していきたいと思っています。

色覚異常の方に配慮した色使いを

視能訓練士 小原 朣

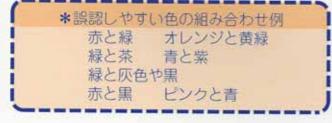
色覚異常の方の70%は、日常生活に支障をきたす事は殆んどなく、残りの30%の人が条件によって、 色誤認をすることがあると言われてます。

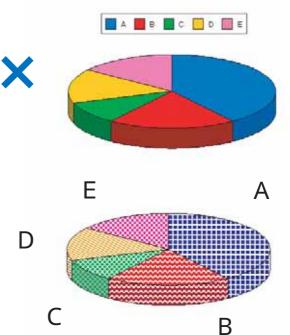
昔に比べて、メディアなどには色が氾濫し、学校で使われる教科書やコンピューターを使った学習 教材は色とりどりで大変美しいだけでなく、地図やグラフなど色が重要な役割を果たしている事が少 なくありません。しかし、色覚異常がある学童にとっては、色が多く使われる事により、かえって混 乱を招いてしまう事があります。また、公共の印刷物や掲示物、案内板などにも色使いにより色覚異 常の方にとって見づらいものがかなりあります。

現在の教科書は大分改善されていますが、

- ①補色の組み合わせを避け、なるべく明度差をつ ける。
- ②色と色の間に境界線を入れる。縁取りをする。
- ③色だけでなく模様や文字で区別できるような絵 や図を工夫する。

といったちょっとした配慮で今まで以上に色覚異常 の方に優しい色環境が出来るのではないかと思います。





早坂

看護師長

悦子

影谷園の植物 2.コルクヴィツア

野田坂 伸也様



中国中部の高山に自生している低木で、樹高3m、枝 張り4mくらいになります。影谷園では、日除棚の後に 1本植えてあります。

6月上〜中旬にピンク色の小さい花が樹全体をおおう ように咲き、実に美しいものです。品種名を"ピンク・ クラウド"と言いますが、たくさんあれば確かにピンク 色の雲のように見えるでしょう。

カナダ、ヴィクトリア市のブッチャートガーデンにも かなり大きくなった樹があり、その美しさに見とれてし まい、我家の庭にも植え、4~5年前から開花するよう

になり、シャクナゲが終わって淋しくなった頃に咲いてくれるので助かっています。 寒さにも乾燥にも強く丈夫で岩手県向きの花木だと思いますが、大きくなりすぎると根元からヒコ バエが次々と出るので狭い庭には無理でしょう。

花が散った後の実には硬い毛がびっしりと生えているの で中国では、「ハリネズミのような実」と称するそうです。 あまり大きくなると困るので、花の後かなり強い剪定をし て大きさを抑えています。公園や大きな庭ではもっと普及 してもよい花木のひとつだと思います。



お知らせ

 *7月2日(金)~3日(土) 第42回北日本眼科学会(福島市):院長出席予定 *7月9日(金)~10日(土) 第37回欅桐会眼科研究会(札幌市):院長出席予定 *7月10日(土)~11日(金) 第20回日本眼科看護研究会(静岡市);篠村善幸・摂待育子・佐々木裕子出席予定 *7月24日(土) 第304回岩手眼科集談会 *8月7日(土) 日本眼科医会第3回理事会:院長出席予定 *8月13日(金)~16日(月) お盆休み *8月21日(土)・22日(日) 第27回東北ブロック眼科講習会(盛岡市) 第15回東北ブロック眼科医療従事者教育講習会(盛岡市) *9月18日(土)~22日(水) 第22回欧州白内障・屈折手術会議(ESCRS)(フランス:パリ):院長出席予定
※内科診察予定:毎月第2,第4木曜日です (都合により変更になる場合もありますので、診察を受ける患者様は、ご確認の上来院お願いいたします) ※変更のお知らせ:7月は15日(木)・29日(木)へ変更になりました
報告 *4月1日 豊巻智美(看護師学生)入社 *4月15日(木)~18日(日)第108回日本眼科学会総会(東京都):院長出席 *4月3日・6月19日 *4月3日・6月19日 *4月21日・6月8日 検査部勉強会 *4月21日 御崎陽介(めがねのオブタン)入社 *4月24日(土)第303回岩手眼科集談会:出席者:院長・副院長・村上越子(ORT)・小原瞳(ORT) *5月1日(土)~5日(水)米国白内障・屈折手術会議(ASCRS)(サンディエゴ):院長出席 *5月10日 谷藤はる香(視能訓練士)入社 *5月15日(土)第26回コメディカル試験:三浦洋子受験 *5月29日(土)いわてORTの会第19回勉強会(動的視野:県立中央病院):小原瞳・谷藤はる香(ORT)出席 *6月5日(土)第20回岩手眼科臨床懇話会(盛岡市): 院長・副院長・早坂・平賀・青柳・藤村・村上・小原出席 *6月25日(金)~27日(日)第19回日本眼内レンズ屈折手術学会(福岡市):院長・副院長出席